

(社)日本鑄造工学会 「生型砂管理技術の再構築」研究部会  
第 11 回研究部会議事録(案)

日時 : 2014 年 9 月 25 日(木) 13:30~17:00

場所 : 北海道立総合研究機構 北海道総合研究プラザ

出席者: 橋本(部会長, 新東工業), 前田(幹事, 海保大)、佐藤(アイメタルテクノロジー)、村本(JFE 継手)、上林(ツチヨシ)、藤井(太洋マシナリー)、川島(マツバラ)、酒井・田中(コヤマ)、樋口(中央可鍛工業)、井上(虹技)、曾根(瓢屋)、森川(森川鉄工)、植村(大銑産業)、小倉(新東工業)

以上 15 名(敬称略, 順不同)

※生型研究部会・北海道鑄造技師会・北海道鑄造技術者懇話会の合同開催として実施。北海道地区からは、32 名の参加をいただいた。(合計 47 名の参加)

【議事】

- 1.【特別講演】凍結鑄型の基礎と展望(11-01) 室蘭工業大学 清水 一道教授  
環境対応プロセスとしての凍結鑄型の鑄鉄材質への適用に焦点を当て、湯流れ性・鑄造組織および機械的性質に関する基礎実験結果を踏まえた基礎理論について紹介いただいた。
- 2.生砂混練における水分コントロールシステムにおける新しい試み(11-02) 新東工業(株) 小倉委員  
混練工程の CB 値測定による混練砂水分コントロールシステムの見直しによる注水精度向上について稼働実績データ等の報告があった。
3. 鑄造設備における振動装置の動向 (11-03) 大洋マシナリー 藤井委員  
鑄造設備における振動機の主な種類と用途について概要説明があった後、生型造型ラインへの振動機導入事例(振動ドラム)の報告があった。
- 4.生型砂の澱粉濃度と生型特性 (11-04) (株)ツチヨシ産業 上林委員  
生砂における流動性と表面安定性の両立のために冷水可溶性澱粉に着目し、冷時粘度を変化させた澱粉を試作、それらを用いた基礎実験結果について詳細な報告がなされた。
- 5.鑄物砂への採用のための砂評価技術 (11-05) (株)瓢屋 曾根委員  
ノルム計算法による鉍物含有量推定値が珪砂の鑄物砂適用判断材料の一つとなることを青森県産珪砂の鑄物砂へ採用事例をもとに紹介があった。
- 6.【北海道地区発表】生型鑄造設備を新設して (11-06) (株)村瀬鉄工所 伊藤氏  
札幌工場に生産コスト低減・品質向上・省エネを目的に新規導入された生型鑄造設備の概要と品質向上のために取り組んでいる技術的課題についての報告があった。

【工場見学会】

日時: 2014 年 9 月 26 日(金) 8:00~12:00

見学先: 株式会社日邦バルブ 苫小牧工場

参加者: 生型研究部会 15 名、北海道鑄造技師会 8 名、北海道鑄造技術者懇話会 8 名(合計 31 名)

見学内容: 2ステーション抜き枠式生型造型機および造型ラインによる水道給水装置向け銅合金鑄物生産状況を詳細に説明・見学させていただいた。

以上